

みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場企画室 TEL42-1613

幼稚園の運動会

園児よりカメラの数が多いかも!?



障害物乗り越えてゴールを目指そう(草野幼稚園)



お父さん、しっかり支えてね(飯樋幼稚園)

草野・飯樋両幼稚園の運動会は9月18日、19日、それぞれの園庭で行われました。運動会は、草野幼稚園が18日、飯樋幼稚園が19日に行われ、園児たちは綱引きやダンス、かけっこなどの種目に元氣いっぱい参加していました。また、種目の中には親子で参加する競技やオリンピックにちなんだ競技もあり、園児たちは家族と一緒に運動会を楽しんでいました。

21世紀は女性の時代

相馬地方婦人団体リーダー育成研修会



4つのテーマごとに分かれて意見を交わした分科会

9月11日、村公民館において「相馬地方婦人団体リーダー育成研修会」が行われ、各地区から参加した155人が、これからの婦人会活動の進め方などについて学習しました。この研修会は、相馬地方の婦人団体で構成する相馬地方婦人団体連合会が中心となり、21世紀に相応した実践団体リーダーとして各婦人会の推進能力を高めるとともに、

人材育成に努めることを目的に毎年開催しているものです。研修会では、菅野村長が「新しい地域社会の創造」と題し、「まていライフ」や「エンジェルプラン」の策定など、村の取り組み等について講演した後、参加者たちは青少年健全育成や組織活動の充実強化など4つの分科会に分かれ、活発に意見を交わしていました。

飯舘村のみなさん お久しぶりです

ハラハラシンガーズ3回目の来村公演

9月11日、いちばん館にて、ふるさといたて織里音の会(佐野ハツノ会長)主催による「ハラハラシンガーズのドキドキコンサート」が行われました。

ハラハラシンガーズは、宮城県矢本町にあるコーラス愛好会員の



ハーモニーが美しい男性カルテットのハラハラシンガーズ

男性4人で結成したグループで、童謡やポップス、ハワイアンなどレパートリーは幅広く、全国各地で演奏活動を展開しています。代表の土井さんが視察のため村を訪れたことをきっかけに交流が始まり、今回が3回目の来村公演となったハラハラシンガーズ。この日は、「世界に一つだけの花」や「童謡メドレー」など15曲あまりを披露しました。また、村のお母さんコーラスの皆さんも参加し、コンサートを盛り上げました。村内外からコンサートに訪れた人たちは、迫力ある美しいコーラスに聞き入っていました。

「劇団ふるさとまきやらばん」 いたて公演



5年ぶりの本村公演となった、ふるさとまきやらばん

「道普請」とは、鎌倉時代に盛んに使われた言葉で、村の道や水路などの生活基盤づくりや補修などの作業を、地域の人々が勤労奉仕として自らの力でつくり、守っていくという意味。本村でも、地区住民が主体となって道路脇の支障木の伐採や道路の維持補修をする「道普請事業」に取り組んでいます。

今回の作品は、人と人とが出会う道、物や情報が流れていく道が、どのようにつくられてきたのかを、時代の移り変わりに合わせて表現するもので、カラフルな衣装を着た出演者たちが生演奏の音楽に合わせて歌い踊る楽しいステージに、村内外から詰め掛けた人たちは、5年振りとなる本村でのふるさとまきやらばん公演を楽しんでいました。

未知(道)への挑戦!

9月27日、飯舘中学校体育館において、「劇団ふるさとまきやらばん公演 みちぶしん」が行われ、会場に詰め掛けた約1,000人が迫力あるミュージカルを楽しみました。今回の公演は、「ミュージカル『みちぶしん』いたて公演実行委員会(佐藤賢一委員長)」が主催、相馬管内の教育委員会などの共催、村商工会やJAそつま、国土交通省磐城国道事務所などの後援を受けて行われました。

私のまわりの親切さん

森永伸一さんに小さな親切実行章

8月25日、飯館中学校体育館にて、村社会教育専門指導員の森永伸一さん(草野)に「小さな親切実行章」が贈られました。

この章は、社団法人小さな親切運動本部(東京都千代田区)が進めている「小さな運動」の一つで、運動を通して思いや

一生懸命やっていると誰かが見てる



島校長から森永さんに手渡された実行章

ズをきれいに揃え整えていたところ、その姿に感動した茨城県の男性が運動本部に推薦し、飯館中学校を通じて受章が決まったものです。

伝達式では、はじめに島義一校長から受章の経緯が紹介された後、実行章と記念バッジが森永さんに渡されました。

受章を受けた森永さんは「私が指示したのではなく、生徒たちが自発的に靴を揃えてくれました。当たり前ですが評価される世の中なんだと実感しています。スポーツの結果よりもこのような行動を取り上げてくれるのは嬉しいことです」と感想を話していました。

小さな親切実行章

「親切」を見た人が、各都道府県本部などに推薦し、毎月毎に東京都の全国本部で受章者が決まります。運動開始から40年以上がたち、これまでに全国で約44.4万人、県内では約1万5,000人が受章しています。

歴代役員7人に感謝状

青色申告会創立35周年記念式典



7人の歴代役員に感謝状が贈られました

飯館村青色申告会が今年で創立35周年を迎え、9月24日に「きこり」にて記念式典が行われました。

会員ら50人が出席した式典では、はじめに物故者に対して黙祷を捧げた後、菅野昌徳会長から「昭和44年に27人の会員で結成して以来、歴代役員と会員の尽力により、現在は会員59人の組織に発展することができました。今後も会員の適正な記帳と申告に向けて事業を推進してまいります」とあいさつが述べら

感謝状が贈られた歴代役員の方々(敬称略)

- 2代会長 荒 喜雄(飯樋町)
- 3代会長 菅野 正男(宮内)
- 役員20年 小山 辰雄(草野)
- 役員15年 北原 藤夫(草野)
- 役員14年 熊川 竜寿(飯樋町)
- 役員14年 菅野 敬(関根・松塚)
- 役員12年 鹿山 眞明(深谷)

友情のたすききぎつないで

中学校で校内球技大会と駅伝大会

爽やかな秋晴れとなった9月15日、飯館中学校(島義一校長)でクラス対抗による校内球技大会が行われ、生徒たちは心地良い汗を流しました。生徒たちの体力向上などを目的に毎年行われているこの大会。今年は、女子がドッジボール、男



目標に向かってクラスが一丸となった駅伝大会

「光り輝く中学生に」生徒会評議委員会が4つの約束を提言

校内球技大会終了後、体育館において臨時の全校集会が行われました。これは、7月から8月にかけて、中学生による不法侵入や器物破損等の犯罪が多発したことから事態を重く受け止めた生徒会評議委員会が中心となって行ったものです。

集会では、島校長から「注意していたにもかかわらず、犯罪が繰り返されたことがとても残念。中学生として物事の善悪を正しく判断して行動してほしい」とあいさつが述べられた後、原町警察署の佐藤喜一生活安全課長から、非行が発生する原因やその防止策などがパンフレットをもとに説明されました。

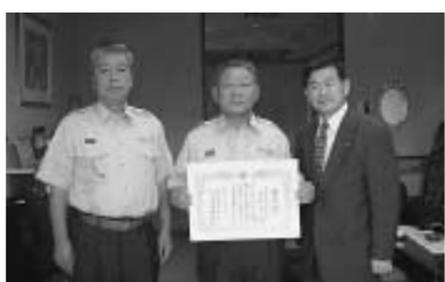
その後、生徒会評議委員会の生徒たちが、「非行を防ぐにはみんなの力が必要です。みんなで飯館中学校を良くしていきたい」と、4つの約束を提言し、生徒全員で確認しました。

1. あいさつは元気(ごんげん)
2. 言葉づかいは正しく(まこと)
3. 服はきちんと着よう
4. ルールは守ろう

※この約束をいつも実行するため、校内のいたるところに貼られています。

地域の安全を守って32年

大越憲一さんが全国優良消防職員で表彰



小椋一男飯館分署長(写真左)と一緒に受賞の報告に役場を訪れた大越さん(写真中央)

今年の8月に兵庫県神戸市で開かれた「全国優良消防職員表彰式」で、表彰を受けた消防飯館分署の大越憲一さん(深谷)が、8月30日に村役場を訪れ、菅野村長に受賞の報告をしました。

大越さんは、消防職員となって今年で32年目。現在、飯館分署の主幹兼副分署長を務めています。大越さんは「表彰式はとても感激しました。これからも住民の安全を守るため精進します」と受賞の感想を話していました。

この表彰は、20年以上勤めた全国の優良消防職員を表彰するもので、今年330人が受賞し、このうち県内では大越さんを含めて5人が受賞しています。



生徒会や学級委員長などで組織する評議委員会